



平成 18 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 東和メックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田口光洋
(コード番号 6775 東証第 2 部)
問合せ先 管理部長 佐藤武雄
(TEL . 03 - 5684 - 2321)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 6 月 14 日に公表しました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想および平成 18 年 10 月 19 日に公表しました平成 19 年 3 月期の中間業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

・業績予想の修正

- 1.平成 19 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 10 月 19 日発表)	3 , 7 0 0	2	1 9 0
今 回 修 正 予 想 (B)	3 , 7 0 6	2 6	2 0 4
増 減 額 (B - A)	6	2 4	1 4
増 減 率 (%)	0 . 2 %	1 2 0 0 . 0 %	7 . 4 %
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期中間)	4 , 0 1 5	9 5	9 1

- 2.平成 19 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 10 月 19 日発表)	2 , 9 3 0	4 0	1 7 0
今 回 修 正 予 想 (B)	2 , 9 3 1	3 0	1 8 2
増 減 額 (B - A)	1	1 0	1 2
増 減 率 (%)	0 . 0 %	2 5 . 0 %	7 . 1 %
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期中間)	3 , 4 3 5	7 0	7 1

3.平成 19 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 6 月 14 日発表)	7,600	60	460
今 回 修 正 予 想 (B)	7,500	80	10
増 減 額 (B - A)	100	140	450
増 減 率 (%)	1.3%	233.3%	97.8%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	7,683	96	58

4.平成 19 年 3 月期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 6 月 14 日発表)	6,100	30	440
今 回 修 正 予 想 (B)	5,900	160	50
増 減 額 (B - A)	200	190	390
増 減 率 (%)	3.3%	%	88.6%
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	6,484	65	51

5.修正の理由

通期の業績につきましては、中間期の業績動向を踏まえ修正するものです。

当社は本年 3 月に策定した新中期経営計画の基本戦略に沿って、ECR・カードリーダー・LED・EMS 事業の統一的取組みによる既存事業の拡大と新分野、新商品、フィービジネス等の取組みによる事業領域拡大による積極的な営業推進を図る一方、原価低減や在庫圧縮、資産の見直しにより財務体質の強化を図るといった、攻守両面に重点を置いた事業展開により、業績回復に努めてまいりましたが、経営環境は厳しく中間期の業績は平成 18 年 10 月 19 日に公表させていただきましたとおり、減損損失や商製品廃棄損等の計上もあり当初予想を大きく下回ることとなりました。

下期につきましては、複数の新商品の投入など商品戦略を強化するものの、競合激化により広告機器は引続き苦戦が見込まれ、ECR につきましても海外向けが依然価格競争が厳しく粗利率低減が見込まれること、加えて新規開発投資費用が先行して発生するなどが利益減少の要因になります。また、子会社においては役員退職金等の特別損失計上があり予想を大幅に下回る見通しであります。

* 上記記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

* 本資料の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

平成 19 年 3 月期配当予想の修正

1. 修正の理由

通期業績予想を上記のとおり下方修正することに伴い、期末配当予想を下記のとおり修正させていただきます。株主の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、早期復配を目指し全社一丸となって業績向上のための施策を推進してまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2. 修正内容

	1 株当たり期末配当金	1 株当たり年間配当金
前回予想（平成 18 年 5 月 12 日公表）	2 円 00 銭	2 円 00 銭
今回修正予想	0 円 00 銭	0 円 00 銭
（ご参考）前期実績（平成 18 年 3 月期）	0 円 00 銭	0 円 00 銭

（注）中間配当は実施しておりません。

業績向上のための施策の実施

1. 当社売上の過半を占める店舗設備機器分野の主力である広告機器事業は、価格競争激化による環境が厳しい現状を鑑み、市場競争力の向上、全国ネットの国内販売会社へのサービスの充実また大型 LED 表示機や LED 装飾、照明等の新規市場の開拓等が必要不可欠であり、共存共栄型の協業体制と新しいビジネスモデルを創る「共創」により成長力を高めるため、持分法適用会社である株式会社トレッドの株式を平成 18 年 9 月 28 日追加取得し、同社の筆頭株主となり今後協業体制を強化、推進することにより、売上の増大と利益の拡大を目指します。

2. 流通情報システム機器分野の ECR 事業は、海外についてはディストリビューターのチャネルを活かし、戦略地域の絞込みとディーラー向け商品ラインナップの充実を図るため、自社商品のほか仕入商材の取扱いを行ないます。国内については、販売会社を通じて培われたお客様との絆と歴史ある「TOWA ブランド」を活かしたニュービジネスモデルを構築し、ECR 事業の活性化を図るため、平成 18 年 11 月中旬に 100% 子会社東和アイ株式会社を設立し、業績の拡大を目指します。

3. グループ会社全体の経営資源の最適活用を図るため、組織の再編を実施し経営効率の改善を目指します。

4. 原価低減、販管費の削減等によりコストの引き下げを図るとともに、役員の報酬を減額することといたしました。

報酬減額内容

会 長・・・・・・・・月額報酬額の約 50% 減額

代表取締役社長・・・・月額報酬額の約 20% 減額

上記以外の取締役・・・・月額報酬額の約 10% 減額

対象期間

平成 18 年 11 月から平成 19 年 3 月まで